

トモズ東高円寺店「目の健康チェックイベント」で視野チェック装置 MEOCHECK を体験できます。

株式会社 QD レーザ (本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：菅原 充)は、レーザ網膜投影技術を使った目の健康チェック機器である「MEOCHECK (メオチェック)」を、9月18日(日)東京都杉並区の薬局トモズ東高円寺店で行われる「目の健康チェック」イベントに提供します。MEOCHECK は誰でも、短時間で、見え方を把握できる装置です。店内では5分程度の「見えづらさチェック」を体験していただけます。

【目の健康チェックイベント(図1)】

眼疾患の早期発見を啓発するイベントです。会場では、視力測定、見えづらさチェック、緑内障の視野の疑似体験ができるほか、管理栄養士による、目の健康を考えた食生活やレシピなどの提案も受けられます。

イベント概要

- イベントタイトル：目の健康チェック
- 開催日時：9月18日(日) 11:00~16:00
- 主催：株式会社トモズ
- 共催：東北大学未来社会健康デザイン拠点
QDレーザ
- 開催場所：東京都杉並区高円寺南 1-7-4
トモズ東高円寺店

【未来社会健康デザイン拠点】

未来社会健康デザイン拠点は、健康に関する社会課題を解決するために大学と企業が連携して取り組んだ「COI 東北拠点」の基盤を発展させる、東北大学の新たなプラットフォームです。健康を支える生活習慣を提案し、未来の幸福な恒常性維持型健康社会の実現を目指しています。

未来社会健康デザイン拠点では、グッドデザイン賞を受賞した「日常人間ドック はかる-わかる-おくる」の概念を更に進化させ、目の健康をどこでも把握できるようにするための、研究活動や社会実装を目標としています。

<https://www.youtube.com/watch?v=wt9NEPWDIdw>

「COI 東北拠点 未来社会健康デザイン拠点の立ち上げ 2021」
東北大学イノベーション戦略推進センターより

【簡易型目の健康チェック装置「MEOCHECK」(図2)】

(株)QD レーザは、会場の見えづらさチェックのコーナーに測定装置 MEOCHECK を提供します。来場者は装置を自身で操作して、見えづらさチェックを体験できます。



図1 「ちょっと気になりませんか？目の健康」のチラシ



図2 簡易型目の健康セルフチェック 装置 MEOCHECK

この機会を、目の大切さに気づく契機にしていいただければと思います。

レーザ網膜投影技術を応用した装置 MEOCHECK は、従来の視野検査装置と比べて、小型で安価だけでなく、使い方も簡単で専門家の立ち合い・操作を必要としません。体重計や体温計のように家庭や事業所で、日常的に目の健康をチェックできます。チェックの頻度を上げることで、自身の見え方やその変化を手軽に把握することができます。

(株)QD レーザは現在、「見える」ことが業務上大切なタクシー会社と、大学、眼科診療所と共に、事故防止・雇用維持・失明防止を目指した眼科チェックシステムの構築を進めています。これまでに、MEOCHECKを使った片眼測定の所要時間1分程度の測定により、高齢化に伴う著しい視感度の低下を見出すことで、目の健康と向き合う「気づき」が得られることを検証してきました^{注)}。(図3)

注):本研究は、厚生労働省、経済産業省、文部科学省が告示した「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて行っています。



図3 MEOCHECK を使った視野チェックのイメージ

【網膜投影機器の社会実装】

(株)QD レーザは本年度、視覚障害者支援・眼疾患予防・視覚拡張の3つの分野で、新しいレーザ網膜投影機器を製品化します。この度提供する「MEOCHECK」は眼疾患予防分野のプロトタイプで、製品発売は決まり次第発表いたします。

警察庁は平成 29 年に「高齢運転者交通事故防止に対策に関する提言」の中で、取り組むべき今後の方策として、認知症と並んで視野障害による運転リスクについて言及しています。特にバス、トラック、タクシー業界のドライバーの高齢化に伴う、視野チェックの日常化は急務となっており、MEOCHECK の貢献が期待されているといえます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部
メール:retissa@qdlaser.com